

うっしっしいー情報2015

9月市



豊岡農業改良普及センター

9月9日に行われましたセリ市全体の平均価格は、去勢が90万3千円、雌が73万9千円でした。

普及センター調べ（税込価格）

（本人落としも含むため、JA公表数値とは異なります）

地域	去勢			雌			総計	
	頭数	DG	平均価格	頭数	DG	平均価格	頭数	平均価格
宍粟・佐用	14	0.931	863,923	14	0.861	703,774	28	783,849
篠山	8	0.952	881,280	6	0.779	709,380	14	807,609
丹波	22	1.004	899,395	24	0.869	738,090	46	815,236
朝来	6	1.026	929,160	3	0.788	676,440	9	844,920
播磨	20	0.955	861,138	12	0.826	717,210	32	807,165
美方郡	68	0.986	911,377	47	0.883	761,699	115	850,204
豊岡	20	0.985	934,362	5	0.884	738,072	25	895,104
養父	25	1.027	919,814	15	0.905	748,656	40	855,630
摂津・神戸	2	0.990	843,480	2	0.833	713,340	4	778,410
県北C	1	0.864	859,680	-	-	-	1	859,680
市場全体	186	0.985	902,863	128	0.867	739,108	314	836,109

9月市種雄牛ランキング

順位	種雄牛	去勢			雌			総計	
		頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均DG	平均価格	頭数	平均価格
1	丸宮土井	26	0.954	912,018	11	0.873	785,945	37	874,537
2	芳悠土井	40	1.025	938,304	28	0.892	765,141	68	867,002
3	千代藤土井	18	0.984	923,040	12	0.874	738,090	30	849,060
	総計	186	0.985	902,863	128	0.867	739,108	314	836,109
4	菊西土井	8	0.965	892,215	3	0.785	666,720	11	830,716
5	芳山土井	50	1.009	893,506	34	0.857	722,329	84	824,220
6	照忠土井	15	0.955	896,256	15	0.869	743,040	30	819,648
7	丸富土井	12	0.884	869,850	15	0.839	715,608	27	784,160
8	福芳土井	5	0.969	848,664	8	0.897	727,920	13	774,360

価格は税込み (10頭以上の出荷があった種雄牛のみ記載)

ランキング種雄牛の育種価

	種雄牛	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留	脂肪交雑
1	丸宮土井	B	B	A+	A++	A++	A++
2	芳悠土井	A+	B → A	A	A → B	A	A++
3	千代藤土井	A	A+++	C	A++ → A+	A++	A++
4	菊西土井	A+	A+	C	B	A	A+
5	芳山土井	A+	A++	A++	C	A++ → A+	A++
6	照忠土井	B	A+++	A+	A+	A+++	A+
7	丸富土井	B	A++	D	C	A	A++
8	福芳土井	A++	B	A++	C	C	A

北部農業技術センター提供 (育種価評価は平成27年7月現在)

飼料給与の目安は、もっていますか？

～実践編～

先月号（7月）は、飼料給与量を決めるための基本について説明しました。今回は、皆さんの給与されている量が適切かどうかの判断方法について説明します。鉛筆と白い紙、電卓をご用意下さい。

1 計算条件・・・母牛の状態、飼料給与量、飼料成分等について

表1 母牛の維持に必要な養分量（目安）

体重 (kg)	乾物量 DM(kg)	可消化養分総量 TDN(kg)	粗蛋白質量 CP(g)
400	5.53	2.76	441

(1) 母牛の状態

①体重：400kg ②妊娠鑑定済み ③子牛を離乳

(2) 1日あたり飼料給与量

粗飼料の給与量を5kg、濃厚飼料の給与量を1kgとします。

(3) 粗飼料の種類と成分（現物中）

種類：イタリアンライグラス（一番草、開花期、乾草）（以下、イタリアン）

成分：乾物率（DM）86%、可消化養分総量濃度（TDN）46%、タンパク濃度（CP）8%

(4) 濃厚飼料の成分（現物中）

成分：乾物率（DM）90%、可消化養分総量濃度（TDN）68%、タンパク濃度（CP）13%

(5) 母牛の維持に必要な養分量は表1のとおりで、前号（7月号）に示した日本飼料標準肉用牛（2008年版）によるものです。

2 適正かどうか充足率を求めてみましょう。

(1) 満腹度合いの指標である乾物（以下、DM）の充足率は

①イタリアンの給与量が5kg、乾物率（乾物率は100から水分を差し引いた値）が86%なので

$$5 \text{ kg} \times 86\% = 4.3 \text{ kg}$$

②次に、配合飼料の給与量を1kg、乾物率が90%なので、

$$1 \text{ kg} \times 90\% = 0.9 \text{ kg}$$

③全体の乾物給与量は、5.2kg（4.3kg + 0.9kg）となります。母牛の維持に必要な養分量の目安が5.53kgなので、

充足率は94%（5.2kg ÷ 5.53kg × 100%）となります。

(2) カロリーに似た可消化養分総量（以下、TDN）の充足率は

①イタリアンの給与量が5kg、可消化養分総量濃度（TDN）が46%なので、

$$5 \text{ kg} \times 46\% = 2.3 \text{ kg}$$

②次に、配合飼料の給与量が1kg、可消化養分総量濃度（TDN）が70%なので、

$$1 \text{ kg} \times 68\% = 0.68 \text{ kg}$$

③全体のTDN給与量は、2.98kg（2.3kg + 0.68kg）となります。母牛の維持に必要な養分量の目安が2.76kgな

ので、充足率は108%（2.98kg ÷ 2.76kg × 100%）となります。

(3) 体の組織づくりに重要な粗蛋白質濃度（以下、CP）の充足率は

①イタリアンの給与量が5kg、可消化養分総量濃度（TDN）が8%なので、

$$5 \text{ kg} \times 8\% = 400 \text{ g}$$

②次に、配合飼料の給与量が1kg、可消化養分総量濃度（TDN）が16%なので、

$$1 \text{ kg} \times 13\% = 130 \text{ g}$$

③全体のCP給与量は、530g（400g + 130g）となります。母牛の維持に必要な養分量の目安が441gなので、充

足率は120%（530g ÷ 441g × 100%）となります。

表2 充足率結果（単位：%）

乾物量 DM	可消化養分総量 TDN	粗蛋白質量 CP
94	108	120

充足率の結果は表2のとおりです。この結果をどのように判断し、どう改善するかは書面の都合上、次回10月号でご説明します。尻切れトンボのようで申し訳ありません。 m(_ _)m

～復習問題～

母牛の体重が350kgで、その時の母牛の維持に必要な養分量（目安）は、表3のとおりです。今回使用した飼料メニューを給与した時、充足率は、どれぐらいにまででしょうか？

（答えは右下の逆さま数値です。）

表3 母牛の維持に必要な養分量（目安）

体重 (kg)	乾物量 DM(kg)	可消化養分総量 TDN(kg)	粗蛋白質量 CP(g)
350	5.00	2.50	402

☆ 答え ☆

DM: 104%、CP: 119%、TDN: 132%